

37. 《江戸幕府とフランスの比較》

このたびの鬼怒川の破堤を見るにつけ、自然外力の脅威にさらされ続ける日本の宿命を感じざるをません。この宿命は、17後半から日本を苦しめ、人口を停滞させてしまいます。それでも幕藩体制は、19世紀中ごろまで続きました。

一方、当時のフランスは、どうでしょうか？

人口規模はほぼ同規模であり、為政者の統治スタイルも、領土を所有する大名や貴族を首都に集住させたところが似ています。また文化レベルでも、ベルサイユ宮殿で競い合った貴族夫人たちのファッションは、大奥の正室・側室たちや吉原の花魁（おいらん）のファッションも、和洋の違いはあれ、絢爛豪華さでは当時の世界の頂点を極めていると思います。しかしフランスは、人口停滞の日本とは違って人口を増加させていきますが、流血革命により既成政体が破壊されてしまいました。

この両国の違いを生んだのは、為政者の在位期間の違いと、外圧の違いによるところが大きいと考えます。

ルイ王朝は、14世と15世の在位期間が非常に長く、国政改革の機会が多くありませんでした。外圧面で、周辺諸国との戦争が続いて人口増加政策を採らざるを得ず、それに対し食糧増産など内政統治が疎かになり、疲れ果てていったと考えます。

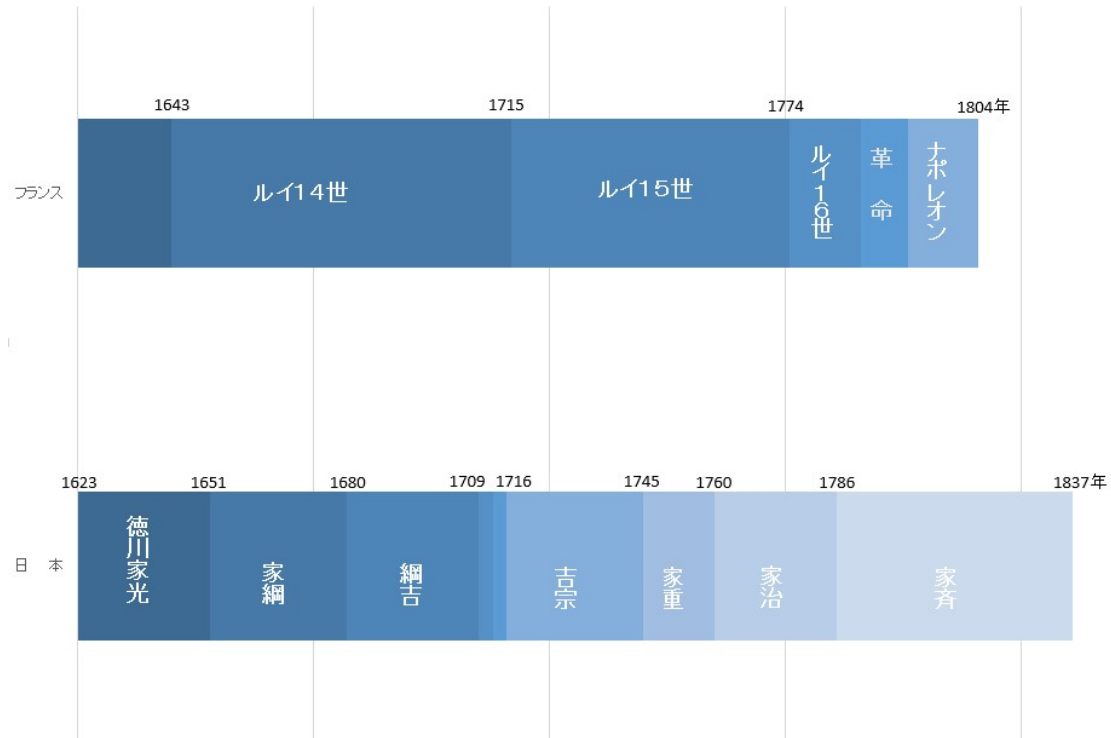
徳川幕府は、大規模な自然災害に度々見舞われて財政危機に陥りながらも、多くの将軍が輩出し、優秀な人材の登用による内政改革が成功し、既成幕藩体制が維持できたと考えます。

では、17・18世紀、江戸や武蔵国を中心に、どのようなエピソードが残されているのでしょうか、次回から紹介してまいりましょう。

写真は、①日本とフランスの為政者比較、②日本とフランスの歴史人口比較、③マリーアントワネットの肖像画（ルーズ・ヴィジェ・ルブラン作、1778年：blogのCaramel24Caratより）、④花魁の浮世絵（喜多川歌麿作：浮世絵版画専門店金沢文庫HPより）

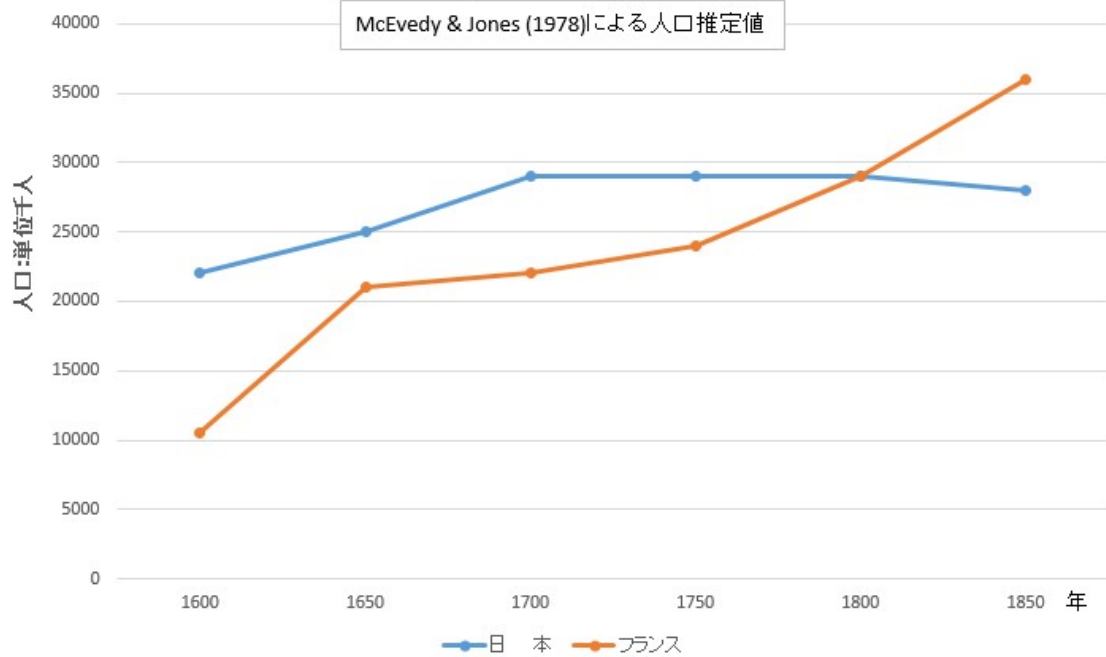
①

日本とフランスの為政者比較



②

日本とフランスの歴史人口比較



③



④

